

支え合いの地域づくり

担い手養成講座【庄内会場】

なぜ今、地域の助け合いが必要かを学んでみませんか！

1

8/25(金) 10:00~16:00 ※現地研修

「地域の居場所って？」～見て・聞いて・体験して



2

9/7(木) 10:00~15:30

高齢者の生活実態と生活課題を把握する手法を学ぼう！



3

9/20(水) 13:00~16:00

課題に取り組むためのアクションプランを学ぼう！



4

第3回終了後～10月20日頃まで

トライアル～実際に生活支援活動を実施してみよう



5

10/25(水) 13:00~16:00

トライアルの検証と振り返り

会場

庄内町余目第三公民館（庄内町余目字藤原野3-1）ほか

定員

30名（先着順）

対象

概ね55歳以上で、高齢者の生きがいづくりや居場所づくりなどの生活支援活動を実践したい方

受講料

無料（現地研修時の昼食等は別途個人負担）

申込方法

氏名・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号・生年月日・「受講動機」を明記し、申込締切8月18日（金）までに、はがき・FAX・メールで、お申込みください。後日ご案内をお送りします。

申込先

（公財）山形県生涯学習文化財団「支え合いの地域づくり」担い手養成講座あて
〒990-0041 山形市緑町1-2-36 E-mail yama@gakushubunka.jp
電話 023-625-6411 FAX 023-625-6415

主催

山形県

実施主体

公益財団法人山形県生涯学習文化財団

支え合いの地域づくり担い手養成講座(庄内会場)プログラム

1	8/25 (金) 【現地研修】「地域の居場所って？」～見て・聞いて・体験して
<p>地域における支え合いの仕組みづくりの必要性を学ぶとともに高齢者の居場所づくりに取り組んでいる現場を実際に訪問し、活動の実践例を学びます。</p> <p>(現地研修先) ふれあい処いぶき(酒田市)、楽家(鶴岡市) ※どちらか一方所での研修となります。</p>	
2	9/7 (木) 高齢者の生活実態と生活課題を把握する方法を学ぶ
<p>山形の高齢化の現状を知るとともに、身近な生活課題を抽出し、その改善策をワークショップで学びます。</p> <p>※この日は、ミーティングを兼ねた昼食(ランチミーティング)になります。</p> <p>講師/東北公益文科大学准教授・庄内オフィス長 鎌田 剛氏 山形県まちづくりサポーター 堀川 敬子氏</p>	
3	9/20 (水) 課題に取り組むためのアクションプラン学ぶ
<p>第2回講座で抽出した課題解決のための目標設定と方策を検討し、実際にアクションプラン(実施計画)を作ります。</p> <p>講師/山形県まちづくりサポーター 堀川 敬子氏</p>	
4	第3回終了後～10月20日頃まで 【実践研修】トライアル～実際に生活支援活動を体験してみよう
<p>各グループで、第3回に作成したアクションプランに基づき、実際に生活支援活動や居場所を開設・運営し、生活支援活動を実践してみます</p> <p>指導・助言/山形県まちづくりサポーター 堀川 敬子氏</p>	
5	10/25 (水) トライアルの検証と振り返り
<p>トライアルについてチェックシートで振り返りを行うほか、研修全体の振り返りと今後どのように活動に取り組んでいきたいかを宣言し、共有します。</p> <p>講師/山形県まちづくりサポーター 堀川 敬子氏</p>	

支え合いの地域づくり担い手養成講座(庄内会場)申込用紙

ふりがな		生年月日	大・昭
氏名		年	月 日 (才)
住所	〒		
電話番号	(自宅) (携帯)	FAX番号	
なぜ、この講座を受講しようと思いましたか			
どんな生活支援活動をやってみたいですか	1. 家事援助 (洗濯・買い物代行等) 2. 見守り 3. 食事 (会食・配食) 4. 移動・移送 5. 交流 (居場所・サロン・話し相手等) 6. チョボラ (雪かき等) 7. その他 ()		
日常生活の中で必要だと思う生活支援活動は何ですか			

＜送付先＞ (公財) 山形県生涯学習文化財団 学習振興部 <FAX>023-625-6415